

三重大学広報誌

三重大 X

[えっくす]

CONTENTS

〈ホットNews〉
国際交流Ⅱ
01...04

〈特集〉
おもしろ研究・先生Ⅵ
外国人教員
05...10

〈速報〉
文部科学省支援プログラム
11...14

〈特集〉
学ぶ・育む
プログラム「X」
15・16

イベント
17...20

気になるNews
21・22

スポット／クラブ・サークル
23・24

表彰・叙勲／本の紹介
25・26

お知らせ
26...29

歴史街道シリーズ
30

国際交流Ⅱ

世界に開かれたキャンパス

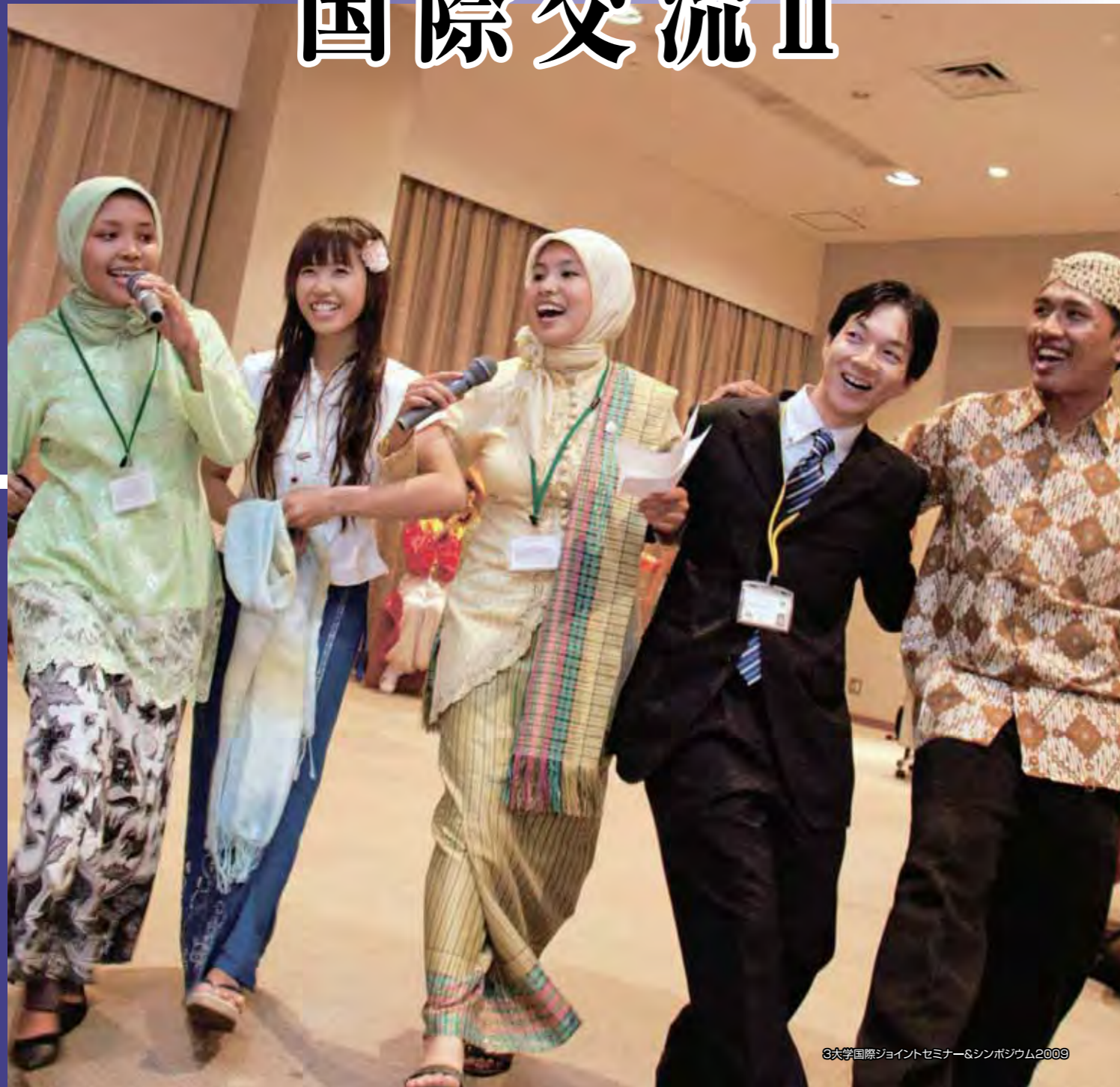
ホットNewsは



vol.20
2009 WINTER

TRINITY UNIVERSITY

国際交流Ⅱ



3大学国際ジョイントセミナー&シンポジウム2009

2020年「留学生30万人計画」

国際交流の発展に伴い、全世界で学んでいる留学生は、270万人といわれています。昨年、日本においても文部科学省ほか関係省庁*1がアジア、世界との間のヒト、モノ、カネ、情報の流れを拡大する「グローバル戦略」を展開する一環として、「留学生30万人計画」を策定しました。

*1 外務省、法務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省。

三重大学の留学生受入れ体制
「魅力ある大学づくり」をご紹介します

魅力あるプログラム

複学位制度＝ダブルディグリー

◎天津師範大学(日本語コース)と教育学部、
◎スリウィジャヤ大学(総合的食料生産・管理
計画学プログラム)と生物資源学研究科との
間で、2つの学位が取得できる画期的なプロ
グラムです。 ★詳しくは、「三重大学 vol.17」参照

国際インターンシップ

タイの6大学と協定を結び、相互の国にお
いて企業での研修を受けます。
★詳しくは、「三重大学 vol.13」参照

日本語・日本文化研修留学生 プログラム

研修期間1年間の国費留学生を中心とした
プログラムです。日本文化研修コースで日本
文化や日本事情を学び、異文化理解と日本語
能力の向上を図るためのコースです。

様々なサポートプログラム

- 日韓理工系学部留学生プログラム
- 英語による国際教育プログラム
- 日本語研修留学プログラム
- 一般日本語教育コース
- 初級集中(日本語研修)コース
- 日本語学習サポートプログラム
- 留学生会・サークル



◎今年のダブルディグリー制度の留学生21名

アジア人財資金構想 「高度実践留學生育成事業」

三重大学に在籍している留学生のための日
本企業への就職支援プログラム。ビジネス日
本語・日本ビジネス教育、就業体験などの講座
があります。

3大学国際ジョイントセミナー& シンポジウム

1994年に三重大学・チェンマイ大学・江蘇
大学との国際交流事業として始まり、今年は6
カ国17大学が参加し、三重大学で「人口」「食
糧」「エネルギー」「環境」「コミュニケーション」
をテーマに開催されました。 ★P17 参照

海外と連携した 臨床医学教育プログラム



がんとマラリアの研究指導

臨床実習の様子

留学生30万人計画を 推進するための方策

1. 日本留学への誘い
- 日本留学の動機づけとワンストップサービスの展開 -
2. 入試・入学・入国の入り口の改善
- 日本留学の円滑化 -
3. 大学等のグローバル化の推進
- 魅力ある大学づくり -
4. 受入れ環境づくり
- 安心して勉学に専念できる環境への取組 -
5. 卒業・修了後の社会の受入れの推進
- 社会のグローバル化 -

安心して 充実した受入れ体制

国際交流センターでは、3つの部門で
留学生の支援をしています。



安心して 留学生支援制度

国際交流特別奨学生制度

協定大学からの優秀な短期留学生を対象に
月2万円の補助。

協定大学出身者優遇制度

協定大学からの大学院生を対象とした優遇制度で、
授業料と入学金を免除。

安心して 各種設備が整えられた宿舎



外国人留学生寄居舎 外国人留学生会館 国際女子学生寄居舎
◎単身室：52室 ◎単身室：30室 ◎留学生用単身室：25室
◎4人部屋：8室 ◎夫婦室：5室

特集
おもしろ
研究・先生VI
外国人教員

比較政治文化の意義！

比較すれば見えてくる公職選挙法



あなたも
つつい国民性のせい
していませんか？

三重大学人文学部・准教授
Guthmann, Thierry
グットマン ティエリー
[URL] <http://kyoin.mie-u.ac.jp/profile/2297.html>

◎政治問題の根本は？

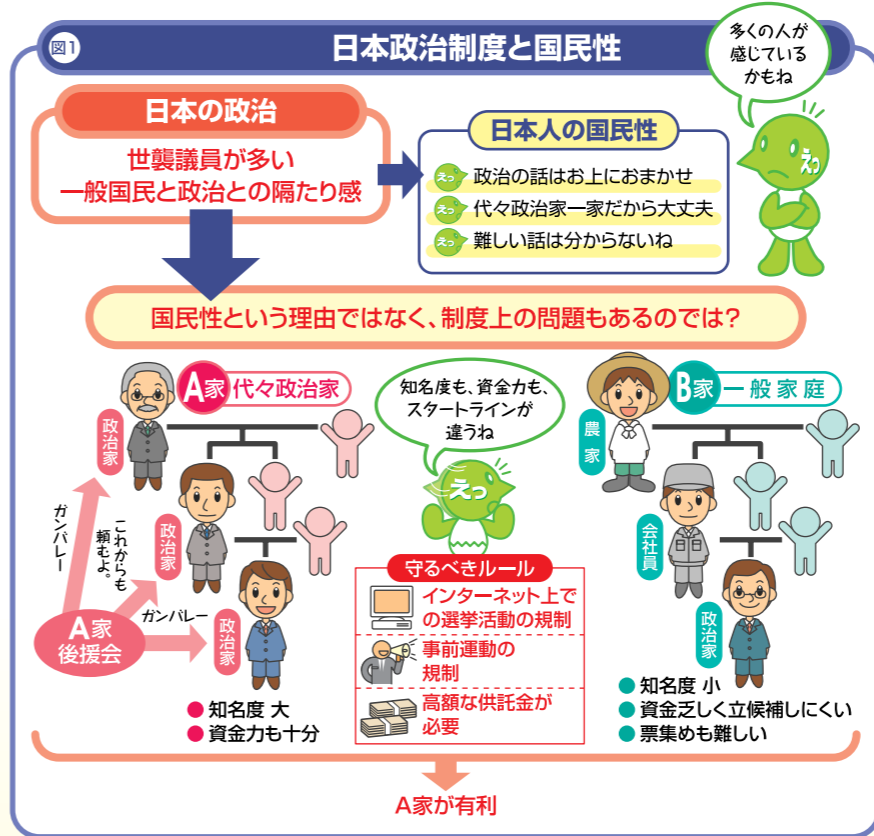
日本政治には様々な問題が存在しています。例えば、「世襲議員の多さ」、「一般の日本人と政治との隔たり感」等。それらの問題の原因はどこにあるのでしょうか。「これは民主主義制度の問題ではなく、日本人の国民性が原因だから仕方ない。」というような話を耳にすることがあります。しかし、他国との制度上の相違

あるいは国民性の違いを具体的に検証せずあなた自身もそのような発言をしていないでしょうか。そこで問題の原因を正しく把握するために、比較政治文化ではどのような政治現象に対しても、国民性と政治制度・仕組みからの影響を分けて考える姿勢が極めて重要となります(図1)。

日本の選挙運動の規制について	公務員の選挙運動規制	在職中、選挙運動できない
	戸別訪問の規制	禁止されている
	事前運動の規制	選挙運動は立候補届け出日から投票前日までに限定
	文書の規制	ビラ、ポスターなど細かい規程がある
	演説会、宣伝カー等の規制	演説会、車、拡声機の様々な制限がある
	インターネットの規制	選挙運動に利用できない

欧米では日本のような細かい規制はなくインターネットでの選挙運動が行われています

◎私の国の紹介◎
フランスでは、日本に比べて自己主張の強い人が多いです。日本人は、まず話を耳を傾けてくれます。文化の違いでしょう。



◎「お上まかせ」か「制度問題」か

具体的には、「世襲議員の多さ」に関しては日本の家制度あるいは日本社会の封建的な側面が要因として挙げられます。親子代々で受継がれてきた「領主」「老舗」ならば安心して任せられると考え、政治家の能力を判断する際に血筋・家系を考慮する傾向が平均的な日本人には染付いているという考えでしょう。また「一般の日本人と政治の世界との隔たり感」に関しても上記と同様の理由で、自ら政治活動をやらず、特定の人達に政治のことをお任せするといった意識のあらわれでしょう。確かに、世襲議員を「サラブレッド」として持ち上げ、政治や行政をしばしば「お上」と表現していることから、文化的要因を完全に否定することはできません。しかし、それだけで現行の政治制度に問題点はないのでしょうか。

◎政治制度を再考

例えば、「べからず法」とも呼ばれている公職選挙法から来る悪影響は十分に検討されているでしょうか。日本の公職選挙法は選挙活動の障害になる規制が極めて多いということが分かります。典型的な例は、「インターネット上での選挙活動の規制」、「事前運動の規制」、「高額な供託金」(図2、表1)等があります。これらの規制は全て現役の政治家、あるいは世襲議員に有利に働きます。このことは裏を返せば、現在の日本では知名度の低い人間や資産家ではない人間、つまり平均的な日本人の被選挙権は法律上十分に保障されていないと言えるでしょう。したがって平均的な日本人の被選挙権の障害となる規制を無くした上で、それでも世襲議員が減らず、国民が政治を遠いものと感じるならば、初めてこれらは国民性に起因する政治問題と言えるのではないのでしょうか。

図2 供託金について

日本の公職選挙における供託金の金額		
選挙	金額	供託金没収点
衆議院小選挙区	300万円	有効得票総数の1割
参議院選挙区	300万円	有効得票総数と議員定数の商の8分の1
都道府県知事	300万円	有効得票総数の1割
都道府県議会議員	60万円	有効得票総数と議員定数の商の10分の1
指定都市の市長	240万円	有効得票総数の1割
指定都市の議会の議員	50万円	有効得票総数と議員定数の商の10分の1
指定都市以外の市の市長	100万円	有効得票総数の1割
指定都市以外の市の議会の議員	30万円	有効得票総数と議員定数の商の1割
町村長	50万円	有効得票総数の1割

*供託金とは…
公職選挙の立候補者が選挙管理委員会に預ける金銭のこと
一定票に達しない場合没収される

フランスなどの欧米諸国では供託金制度がない国も多いんだよ

特集
おもしろ
研究・先生VI
外国人教員

アレルギーと無縁の世界を

免疫の過剰反応をコントロールする



三重大学大学院医学系研究科・教授
Gabazza, Esteban
ガバザ エステバン
[URL] <http://kyoin.mie-u.ac.jp/profile/2123.html>

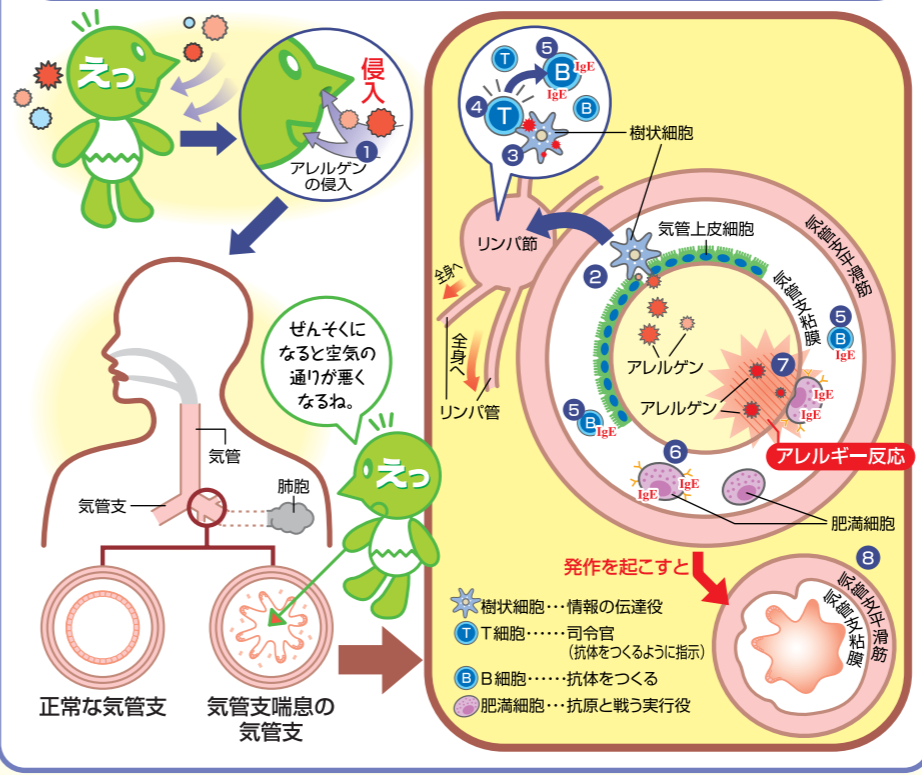
図1 アレルギー



◎アレルギーとは？

私たちに、外部から侵入した細菌やウイルスから体を守るための「免疫機能」が備わっています。しかし、免疫機能が特定の抗原（花粉、食物、ダニなどのアレルギー）に対して過剰に反応し悪影響を及ぼすことがあります。これがアレルギーです（図1）。気管支喘息、花粉症、蕁麻疹など様々な種類がありますが、ここでは、アレルギー性気管支喘息をご紹介します。

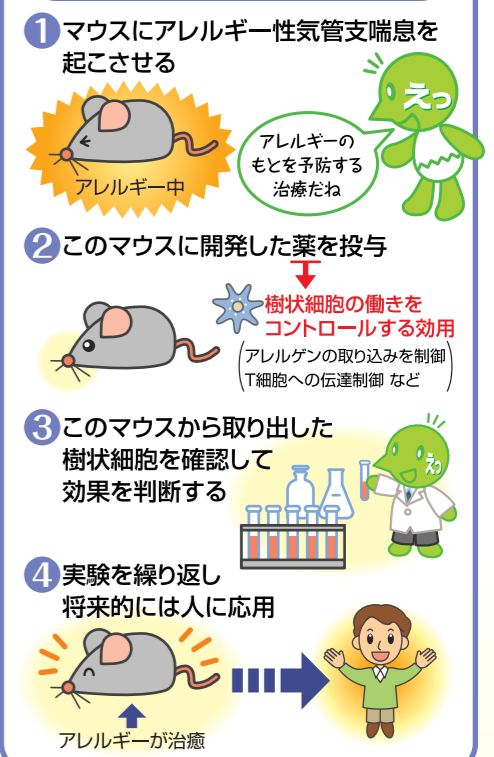
図2 アレルギー性気管支喘息について



◎アレルギー性気管支喘息が起こるまで

口や鼻などから気管支に侵入したアレルギー（図2①）は、異物と判断されると、樹状細胞に取り込まれます（図2②）。樹状細胞は、その後リンパ節へ移動し、アレルギーの情報にT細胞に伝えます（図2③）。情報を受け取ったT細胞は活性化し、サイトカイン、ケモカインなどの炎症性物質を産生し放出します（図2④）。これらの物質がB細胞に働きかけ、抗体（IgE）を作ります。IgEは全身で作られ、次のアレルギーの侵入に備えます（図2⑤）。再びアレルギーが侵入すると、IgEが肥満細胞と結合し（図2⑥）、異物を排除するための免疫反応を起こします（図2⑦）。これが過剰反応を起こすと、肥満細胞からヒスタミン、ロイコトリエンなどの物質が大量に放出され、気管支の収縮などが起こり、喘息の発作を起こします（図2⑧）。一度発作を起こすと、再度アレルギーが侵入した際に、以前よりも強い反応を起こし、喘息の発作が慢性化します。

図3 樹状細胞を制御する研究



◎「昔の病気」と言われるように…

アレルギー性気管支喘息の治療には、一般的に病気の原因であるアレルギーをできるだけ排除することと合わせて、気管支拡張剤や炎症を抑えるステロイド剤などが用いられます。しかし、完全なアレルギーの排除は難しく、またアレルギー性気管支喘息が起こってから対処する（発作の抑制）ため、病気の根本を治療することができません。そこで私たちは、病気の原因を絶つ研究を行っています（図3）。アレルギー反応が起きるまでの過程で止めるような、アレルギーの無い世界を目指し、将来は人へ応用できるように研究を続けていきます。

◎私の国の紹介◎

パラグアイは南米の国で、イタリア系、ポルトガル系、スペイン系など様々な人々が生活しています。このため、日本と違い国際化という言葉はありません。むしろそれが普通なんですよ。

特集
おもしろ
研究・先生VI
外国人教員

「災害対策・環境保全」～地域からグローバルへ～

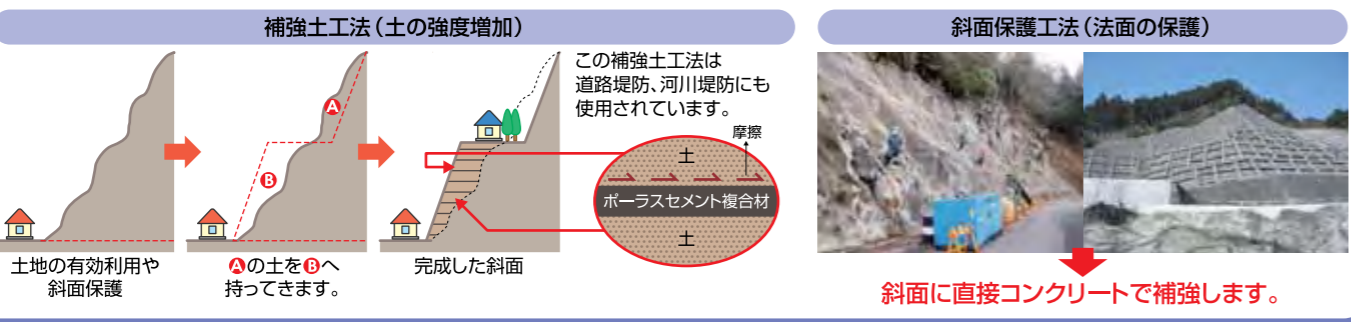
国際化をリードする人材育成



三重大学大学院生物資源学研究所・准教授
Hossain, Zakaria
ホセイン ザカリア
[URL] <http://www.crc.mie-u.ac.jp/seeds/html/411/index.html>

三重県伊賀市にて

盛土斜面の安定対策



◎災害を防ぐために

みなさんは、バングラデシュという国をご存じですか? 土壌は肥沃で水に恵まれ、水田耕作に適しています。しかし、河川がしばしば氾濫するため、多くの被害をもたらします。災害に耐える堤防や斜面保護(図1)の技術を求めて、私は日本にやってきました。災害対策についても、近年世界的に環境問題が注目されるようになり、建設廃棄物をリサイクルするセメント複合材の研究が進んでいます。材質、強度、経済性、環境への負荷などあらゆる面で優れたポーラスセメント複合材をご紹介します。

◎一石三鳥 ～リサイクル材が、環境、経済、災害対策に大きな効果を発揮～

私が考案したポーラスセメント複合材は、日本国内の多くの場所で有効利用されています。リサイクル材を使用するため環境に優しく、地すべりに効果が高く、廃材を使うため経済的にも安価で、土砂災害対策に適しています。メッシュ、モルタル、リサイクル材の3素材の相乗作用によって、引張り力を補い、表面の土に摩擦力を与え、土砂災害に強い基盤を作り上げます(図2)。

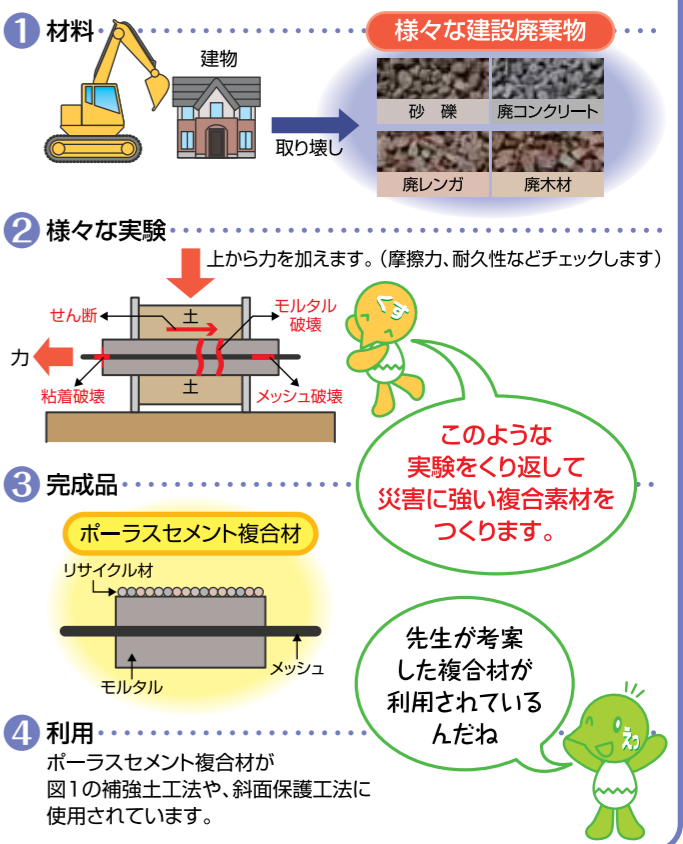
◎技術は国境を越えて ～環境に適した対策～

私たちの地域保全工学研究グループは、バングラデシュの堤防破壊(写真1)に関する調査研究を行い、環境に適した災害対策を検討しています。今後、それぞれの国や地域に合った災害対策をサポートして、国際社会に貢献できる研究を進めていきます。災害対策はまだ発展途上です。人々の暮らしの安全を求めて、日々新しい材料や技術の研究が欠かせません。

◎人材も国境を越えグローバルに!

これからは優れた研究を行うことはもちろん、国際社会で活躍できる人材が求められています。講義では、質疑応答に英語を取り入れ、日本語と英語を併記する(写真2)ことで、国際社会に必要なコミュニケーション能力や、研究会での学生の発表能力の向上を目指しています。研究テーマは学生の希望に添って設定し、「現地を知る、見る、触れる」をモットーに聞き取り調査や資料収集などを行い、自ら分析して考える力を身につけられるように指導しています。

図2 建設廃棄物の再利用と新複合材の開発



▲バングラデシュの堤防破壊



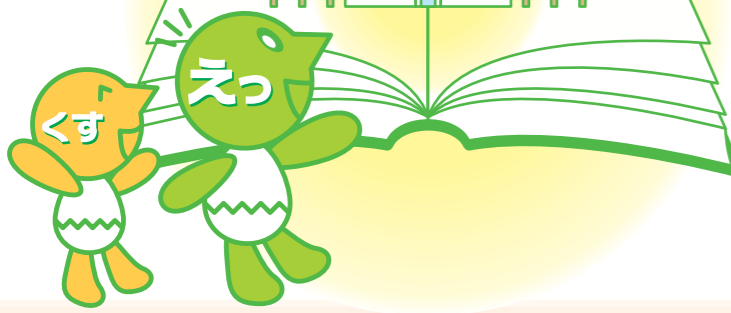
▲講義中

◎私の国の紹介◎
パウル歌はバングラデシュの伝統音楽です。料理は主にカレー、最近はパン食も増えています。川がとても多く、「川の国」と呼ばれています。

文部科学省 支援プログラム

テーマA 「大学教育推進プログラム」は、

大学等における学士力の確保や教育力向上のための取組を選定し、財政的なサポートや幅広い情報提供を行うことで、我が国の高等教育の質保証の強化に資することを目的としています。



保健医療の国際化に対応する 医学教育

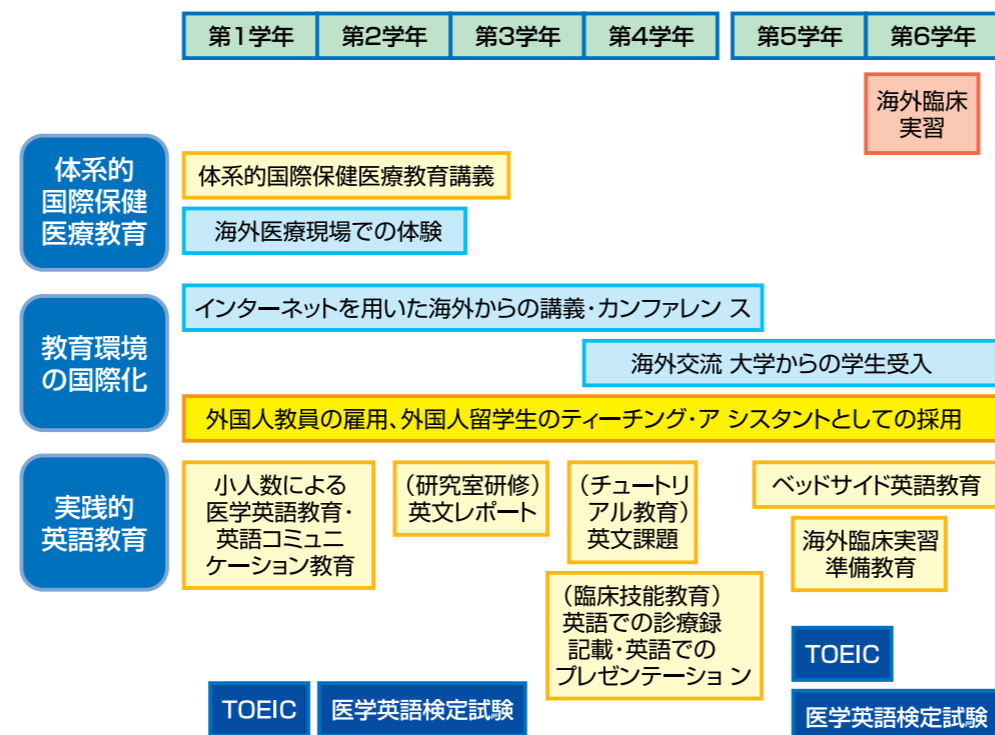
—教育環境の国際化と実践的語学教育を目指して—

大学教育・学生支援推進事業 テーマA「大学教育推進プログラム」

平成
21年度

医学部では、国際保健医療の現場で活躍する人材、国際感覚を持つ地域医療に貢献する人材を養成するため、体系的な国際通用性のある医学教育を導入し、既の連携により高い教育効果を達成することを目指しています。この海外体験実習、英語コミュニケーション教育、体系的国際保健医療外国人教員の採用などを計画しています。

◎ 取組の具体的内容 ◎



隣接学校園との連携を核とした 教育モデル

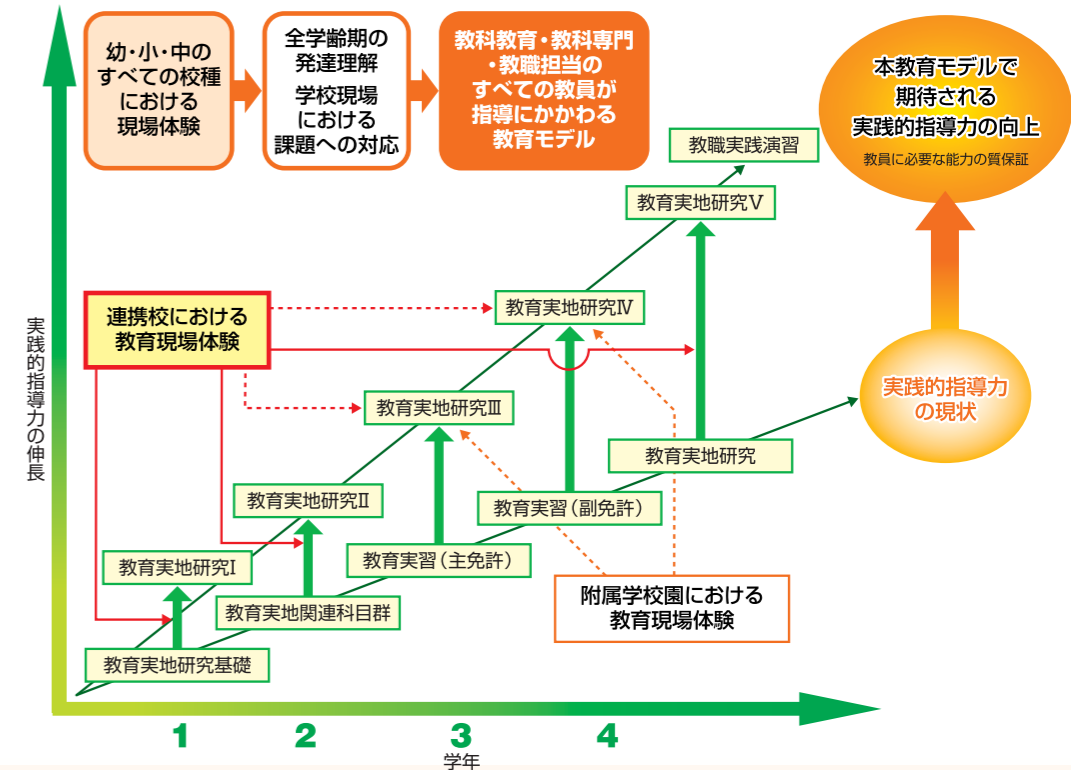
—多様な教育課題に対応できる教員養成を目指して—

大学教育・学生支援推進事業 テーマA「大学教育推進プログラム」

平成
21年度

教育学部では、実践的指導力を涵養する場として本学と隣接する一身田中学校区の学校園との連携を進めてきました。このプログラムでは、これまでの実績を基盤として、隣接するもう一つの学校区である橋北中学校区の学校園との連携へと拡大し、2つの中学校区(2中学校、6小学校、3幼稚園)および教育委員会との連携協力を深化させ、現場体験を核とした教員養成の教育モデルを構築しようとするものです。また、学校園における多様な教育課題への支援に参加しながら教員としての資質形成に結びつく体系的で幅広い学びを体験することによって、質の高い教員を養成することを目的としています。

◎ 教育実践プラン ◎



マザーホスピタル構想による 周産期医療再生

大学改革推進等補助金（周産期医療環境整備事業）

平成
21年度

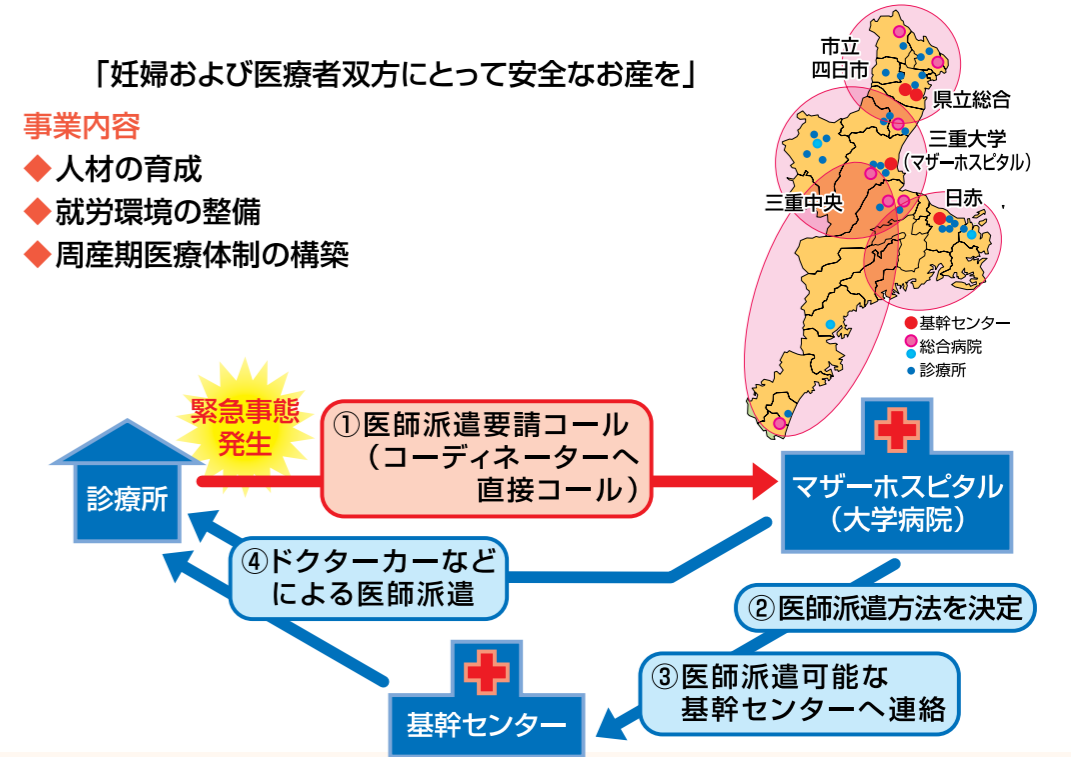
本学の附属病院が県下の周産期医療の核となり「魅力ある卒前・卒後研修プログラム」の実施とマザーホスピタル機能の強化により、全県的な周産期医療に関わる人材の確保・育成を行います。県下の周産期基幹センター等での卒前実習、専門科未定研修医に向け周産期医療関連科合同研修の提供、女性医師の就労環境整備・女性コーディネーターの配置などを今年度より5年間、毎年4000万円の補助を受けて実施展開し、疲弊する地域の周産期医療の再生と活性化を目指します。

◎ マザーホスピタル構想による周産期医療再生 ◎

「妊婦および医療者双方にとって安全なお産を」

事業内容

- ◆人材の育成
- ◆就労環境の整備
- ◆周産期医療体制の構築



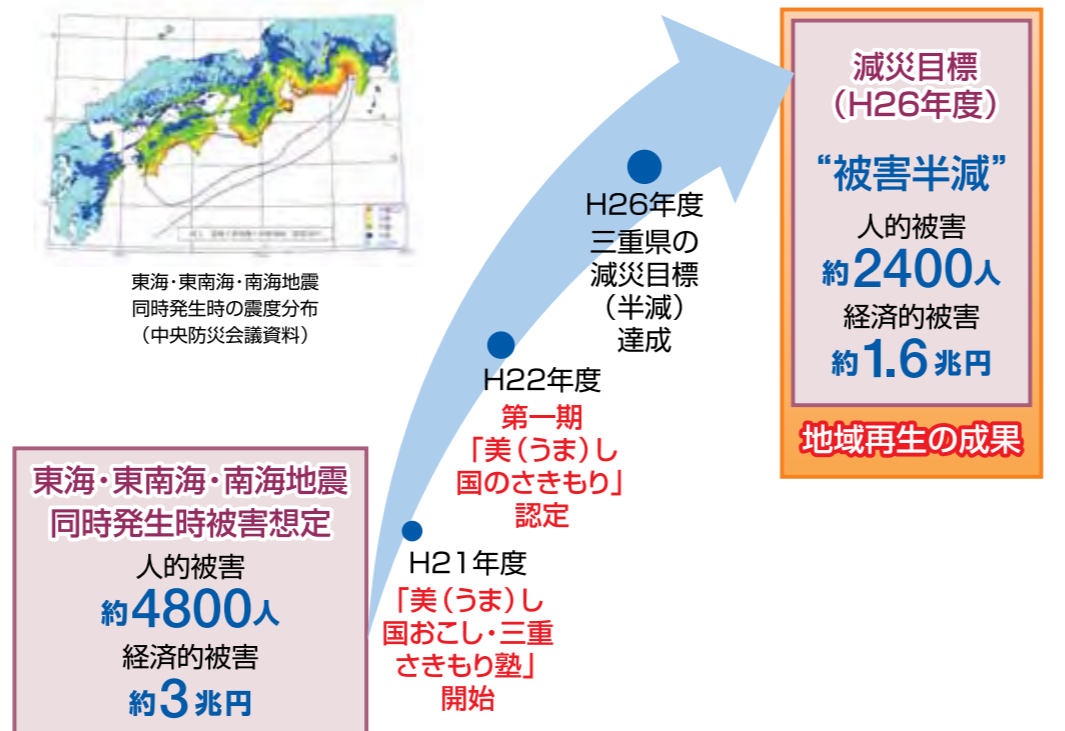
美し国おこし・三重さきもり塾

地域再生人材創出拠点の形成

平成
21年度

このプログラムは、本学と三重県が協働して自然災害のリスクが高い三重県地域において、防災・減災活動を行う人材「美し国・三重のさきもり」を年間約10人養成・輩出し、自然災害による被害の軽減を目指すもので、今年度から5年間、毎年約5000万円の補助金の対象は行政・企業に所属する社会人、地域の防災活動に取り組む方々、本学の学生です。今年度発足した本学の「自然災害対策室」が中心となり、各研究科と協働の下、人材の養成を行います。

◎ 本事業による養成人材が目指す三重県の減災目標 ◎



注：「第2次三重地震対策アクションプログラム」（三重県、平成19年7月）に基づく。

「地域再生人材創出拠点の形成」プログラムは、

大学等と地元の自治体との連携により、科学技術を活用して地域に貢献する優秀な人材を輩出する「地域の知の拠点」を形成し、地方分散型の多様な人材を創出するシステムの構築を目的としています。

周産期医療環境整備事業（人材養成環境整備）は、

平成20年度策定の『大学病院の周産期医療体制整備計画』を推進するため、次代を担う若手医師や女性医師への教育環境整備や支援体制の充実など、先駆的な事業を実施する大学病院の支援と人材養成機能を強化し、医師の過重労働の軽減や、地域の周産期医療体制の構築を目的としています。



三重大学開学60周年記念式典 10/9 FRI

講堂(大ホール)で、開学60周年を祝う記念式典を行い、教職員や学生約500名が出席しました。これまでの60年間の歴史や活動を振り返り、決意を新たに一層の発展を誓いました。



▲学長挨拶



▲学生歌斉唱



▲吹奏楽団による演奏

祝辞



▲三重県 江畑賢治 副知事



▲津市 松田直久 市長



▲鈴鹿医療科学大学 作野史朗 学長



▲チェンマイ大学 ボンサック アンカシット 学長



▲バレンシア州立工芸大学 ルイス マヌエル サンチェス ルイス アシア・アメリカ担当部長



▲三重大学全学同窓会 矢谷隆一 会長

特別記念講演会



▲国立大学法人 政策研究大学院大学 黒川 清 教授 「グローバル時代の大学の使命」

祝賀演奏会



▲附属中学校音楽部による合唱



▲ダンス部



▲応援団



▲ギターマンドリンクラブ

3大学国際ジョイントセミナー & シンポジウム 2009

10/19 MON

●三重大学到着 ~三重大学・チェンマイ大学(タイ)・江蘇大学(中国)~
学術協定を結ぶ6カ国17大学から学生や教職員が集まり、「人口」「食糧」「エネルギー」「環境」「コミュニケーション」をテーマに、学生による英語での論文発表や相互理解を深めるための様々なプログラムが催されました。

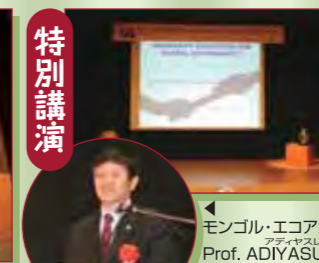


10/20 TUE

開会式



特別講演



▲モンゴル・エコアジア大学長 アディヤスレン Prof. ADIYASUREN Ts. Borjigdkhan(Ph.D) 「地球環境持続のための大学教育」

歓迎会



ポスターセッション



10/21 WED

基調講演1・2



▲乗本秀樹 教授 教育学部



▲吉田悦子 教授 人文学部

シャープ亀山工場見学 & 関係散策



口頭発表



ポスターセッションと口頭発表は3日間にわたり行われました。

10/22 THU

基調講演3・4



▲江蘇大学 マカイラク Prof. MA Haile



▲チェンマイ大学 ワサン Dr. Wasan JOMPAKDEE

閉会式



▲テーマ別「最優秀学生発表賞」6名

フェアウェルパーティー



来年はチェンマイ大学(タイ)で開催するよ

10/23 FRI

日本出発



▲多くのスタッフが活躍しました



10/23 FRI

●日本出発



EVENT イベント

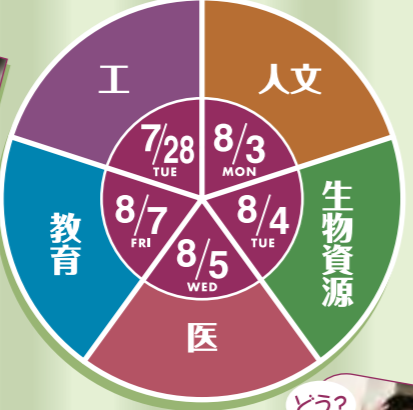
EVENT イベント

オープンキャンパス

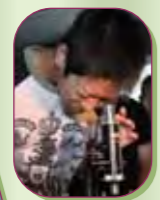
7/28 TUE
8/7 FRI



めがね着用!!



心音ってどんなのだろう



ん? んん??



血圧測ります



総勢4097名の方々に参加していただきました。



梨おいしそう!



完成!!



ひと休み...♡



ラ〜ラ〜ラ〜♪



模擬裁判です!



ふむふむ

人文学部3年生
森田千恵です。
インターンシップで
オープンキャンパスの
写真をえらんたり、
公開講座のお手伝い
もしました。



レクチャーコンサート

〜新進オペラ歌手が競う愛の讃歌〜

10/18 SUN



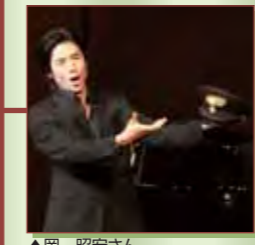
今年も、
新国立劇場オペラ研修所顧問 海老澤 敏 先生を
講師にお迎えいたしました。



▲海老澤 敏氏

プログラム

第1部	モーツァルト 「ドン・ジョヴァンニ」	ボーイト 「メフィスト・フェレ」	ブッチェニ 「ラ・ボエーム」
第2部	ドニゼッティ 「愛の妙薬」	レハール 「ジュディッタ」	スッパ 「ポッカッチョ」
			ブッチェニ 「つばめ」



▲岡 昭宏さん



▲上田純子さん



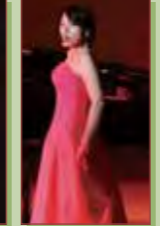
▲糸賀修平さん



▲木村眞理子さん



▲城 宏憲さん



▲中村真紀子さん



▲小笠寺美樹さん



パチパチパチパチ

パチパチパチパチ

第61回三重大学祭

11/7 SAT
11/8 SUN

三重奏

〜Miesou〜

ボクとあなたとあのヒトと
奏ごよう三重の音色
届けようキミの音色



ジャグリングが楽しいな!



女装コンテスト♡



いがり頭がステキ☆



「明るい選挙」
イメージキャラクター
いつびん 参上!



学祭実行委員会スタッフのみなさん

撮影にご協力いただき、
ありがとうございました。

平成21年 10月1日

全国で初めて レジ袋を置かないコンビニ 「ミニストップ 三重大学店」オープン

利用者へのエコバックの無料貸し出しと太陽光発電やLED照明設備など環境に配慮されたコンビニが大学構内にオープン。開店と同時に多くの学生が店内に溢れました。



エコバック

平成21年 10月3日

津市からの受託研究 森林・自然アカデミー事業 「子ども樹木博士」開講

森の中で、50種類の樹木の形や特性などについて講義を受け、森林の役割を知り大切にするを学びました。最後に、検定試験があり、子ども樹木博士認定活動推進協議会から成績に応じた認定書が交付されました。



平成21年 10月5日

自転車盗難 防止キャンペーン

津警察署員から学生にワイヤー錠が配布され、ツーロックの指導が行われました。参加した学生は「盗まれないよう錠を二重にかけます。」と話していました。



生物資源学部前駐輪場にて

平成21年 10月12日

三重テレビ 開局40周年記念 「三重ECO BEACH 2009」 ファイナルイベント

町屋海岸の清掃や環境団体の表彰式が行われました。また、ビーチバレー選手の浅尾美和さんや歌手の西野カナさんのトークショーがあり、大いに盛り上がりました。



活動賞を受賞した三重大学環境ISO学生委員会



エムとくんといっしょに清掃活動

平成21年 10月12日

三重大学サークル 「ラインブレイク」が 「第23回全日本学生釣り 選手権大会」優勝!!

受賞

同大会 「フカセ釣りの部」 優勝&特別賞!!



橋爪勇樹さん
(生物資源学部3年)

平成21年 9月25日

三重大学伊賀研究拠点 伊賀先端 テクノロジー研究会

基調講演①「北京オリンピックの100m、200m競技で優勝したボルト選手が常食するジャマイカンヤムイモの機能性」と②「がん免疫療法の実用化を目指して-産学連携による三重から世界への発信-」が行われました。



①タカラバイオ(株)前社長 加藤郁之進氏 ②本学 珠玖 洋名誉教授

平成21年 10月1日

~勢水丸カレーの味を再現~ 生協で三重大学 カレー絶賛発売中!!

宗田節をだしに使ったカツオの風味がほのかに香る和風カレーを300円で発売しています。大学内のレストラン「パセオ」で提供していますので、ぜひ一度、お試しください。詳しくは、HP (<http://www.mucoop.jp/curry/index.html>) をご覧ください。



単品 420円/サラダ付 520円

平成21年 10月22日

平成21年 10月23日

国際環境教育ワークショップ 「アジア・太平洋大学 環境コンソーシアム」



7カ国23大学の研究者が集まり、国際環境インターンシップなど環境教育を協力して行うことが決まり、盛況のうちに幕を閉じました。また、来年10月、COP10のグローバルユース会議を三重大学で開催します。

※COP10：生物多様性条約第10回締約国会議

Best Student Presentation Award (最優秀学生発表賞)

10月19日~22日の「3大学国際ジョイントセミナー&シンポジウム2009」(P18参照)で、優秀な発表を行った本学の学生2名が表彰されました。

テーマ:Population(人口)
受賞者:ナワウィさん(人文社会科学部)

テーマ:Communication(コミュニケーション)
受賞者:山口千明さん(生物資源学部)

受賞

平成21年 11月6日

平成21年 11月15日

「ベルリンの壁崩壊及び ドイツ再統一」記念展 (主催:大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館)



大阪神戸ドイツ連邦共和国総領事館副領事 ミビエル・イーレン氏

冷戦当時の様子を振り返るパネル展が附属図書館で開かれ、学生をはじめ多くの方々の関心を集めました。また、11月8日には副領事によるベルリンの壁崩壊についての講演が行われました。

来年3月
まで西日本各地
を巡回

平成21年 11月2日

附属農場で 育てた「松阪牛」と 「梅酒三重大学」の 試食・試飲会



生物資源学部の学生が飼育や製造に携った、松阪牛と梅酒の試食・試飲会がレストラン「パセオ」で行われました。当日は長蛇の列ができるほどの賑わいぶりでした。

平成21年 10月25日

第62回 全日本合唱 コンクール全国大会 「混声の部」 附属中学校 音楽部

銀賞

平成21年 10月27日

三重テレビ 「とってもワクドキ!!」 に出演!



三重県と連携して開催するフォーラムや三重大学の様々な取り組みなどについて語りました。

内田学長
インタビュー



伊勢春慶

“お伊勢さん”で全国的にも知られた伊勢市。木目の美しさをそのままに届ける、伊勢の伝統工芸・伊勢春慶を取材してきました。

◎選ばれ、求められ、再び表舞台へ

江戸時代から昭和30年代ぐらいまで盛んに製造された伊勢春慶の漆器は、戦後の生活様式の変化と共に、一度は姿を消しました。しかし、最近になってライフスタイルの見直しと再生を願う人々の思いが実を結び伊勢春慶を復活へと導きました。木目の特徴を活かし、職人の細やかな仕事が施された漆器は、伝統的なものから、現代の暮らしに合ったカジュアルなものまで多種多様です。今回は、復興を遂げた伊勢の伝統技術を見学に行ってきました。



▲作業中の塗師 森さんです。

今回からレポーターに加わりました。よろしくお願ひします。



新矢 レポーター

伊勢といえば11月3日に宇治橋渡始式が行われたね



▲手提重(左)と小箱(右)です。木目を活かした塗りがとてもキレイ。

▼盆、重箱、写真立て、名刺入れなど工房で展示販売されています。



◎新！伊勢春慶塗

伊勢市を流れる勢田川のほとりを歩くと、昔の建物が建ち並び通りがあります。その中の伊勢春慶デザイン工房を訪ねました。昭和50年代には、一度途絶えた伊勢春慶はその後復興を遂げ、現在は箱物や膳など伝統的な「オーソドックス春慶」と、大学生とのコラボレーションによって出来上がった現代向けの「カジュアル春慶」などの商品があり、その美しさに思わず目を奪われてしまいました。

塗師と呼ばれる漆塗りの職人さんの実演では、ムラや埃を許さない丁寧できめ細やかな塗りの技術を見学させていただきました。伝統を守りつつ、また時代に合わせて進化する伊勢春慶を、皆さんも一度手にとり、使ってみてはいかがでしょうか？



▲入れ子



▲ボールペンの持ち手部分に春慶塗りが施されています。



▲昔の建物が残る河崎の町並みです。(現 伊勢河崎商人館)



まちかど博物館 伊勢春慶デザイン工房

- 所在地 〒516-0009 三重県伊勢市河崎2丁目25-29
- 開館時間 10:00~17:00 (火曜日休館)
- お問い合わせ先 TEL.0596-29-1285
- [URL] <http://www.ise-shunkei.com/koubou.html>

ボウリング部

代表 齋木 翔太 (人文学部社会科学科 3年)

[URL] http://www.geocities.jp/mie_bowlingclub_since_1981/top.html



活動は毎週水曜日・土曜日 津グランドボウル

ボウリング部は1981年から続いている伝統のある部です。三重県の大学では唯一のボウリングサークルです。

現役とOBの約10名で、のびのびと活動しており、来年の試合に向けて日々練習を重ねています。今後は、より多くの大会・試合を経験し、さらなるレベルアップを目指します。

ボウリングは才能・年齢を問わず一生楽しむことのできるスポーツです。“娯楽”としてのボウリングではなく、“スポーツ”としてのボウリングを広めたいと思っています。



私たち小原流華道部は、お稽古の間にも話に「花を咲かせ」、男女仲良く和気あいあいと活動しています。お花は季節を感じることができ、心を穏やかにしてくれます。毎年11月の大学祭では、部員一人ひとりが思い思いに生けた花を展示しています。



▲初心者でも大丈夫。



▲ロックタウン鈴鹿にて。

また、今年の6月に鈴鹿で行われた「超人列伝」というイベントでは、お客様の前で花を生けるパフォーマンスを行いました。今後もこうした地域でのイベント活動に積極的に参加していきたいと考えています。



週に一回、先生(前列左から3番目)をお招きして指導を受けています。▼

活動は月4回 主に金曜日 翠陵会館2階和室

代表 野路 朋加 (人文学部社会科学科 4年)

小原流華道部

＊ 表彰

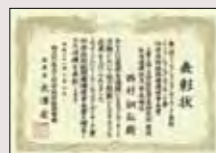
●2009年4月23日
日本心血管外科学会最優秀賞

医学部附属病院・准教授
小野田幸治



●2009年10月7日
独立行政法人科学技術振興機構
第1回イノベーションコ
ネータ表彰・科学技術振興機構
理事長賞

医学系研究科・教授
西村訓弘



●2009年10月21日
Distinguished Award 2009
IUPAC Novel Materials and
Synthesis

工学研究科・教授
清水 真



受賞者	受賞名(受賞日)
医学系研究科 講師 平工雄介	日本衛生学会奨励賞 (2009.3.31)
医学系研究科 助教 石井健一朗	The 2009 American Urological Association Annual Meeting, Best of posters (2009.4.27)
附属病院 整形外科 医員 中村知樹	(財)整形災害外科学研究助成財団 アルケア奨励賞 (2009.5.13)
附属病院 管理栄養士 原 なぎさ	第31回日本臨床栄養学会総会・第30回日本 臨床栄養協会総会 第7回大連合大会若手 奨励賞 (2009.9.20)
生物資源学研究所博士後期課程 (現・株式会社リポソーム工学研究所) 福島秀崇	
工学研究科 講師 湊元幹太	日本生化学会JB論文賞 (2009.10.21)
工学研究科 名誉教授 吉村哲郎	

＊ 平成21年秋の叙勲受章者

瑞宝中級章(教育研究功勞)

名誉教授
水本龍二
教育者、研究者として長年にわたり、三重大学の
発展に多大な貢献をされました。

瑞宝双光章(保健衛生功勞)

元附属病院診療放射線技師長
西村廣一
長年にわたり放射線業務に従事し、三重大学
医学部附属病院の発展に多大な貢献をされました。

瑞宝単光章(看護業務功勞)

元附属病院副看護部長
別所幸子
長年にわたり看護業務に従事し、三重大学
医学部附属病院の発展に多大な貢献をされました。

「瑞宝章」は
公共的な業務で
長年従事して功勞を
積み重ねた人に
贈られるんだよ。



＊ 医学教育等関係業務功勞者表彰

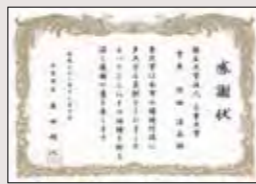
臨床(衛生)検査関係業務

●2009年11月25日
附属病院中央検査部副臨床検査技師長
松島佳子
長年にわたり臨床検査業務に従事し、顕著な功勞をあげられました。

＊ 感謝状

尾鷲市長から三重大学に感謝状

●2009年11月10日
生物資源学研究所 前田広人教授がダムの
異臭問題解決、人文学部 朴 恵淑教授が
ゴミ軽減化に貢献したことが評価されました。



＊ 学生表彰

2009年「海の日」懸賞論文
最優秀賞

生物資源学研究所(博士後期)2年
今川 恵
(教授 長谷川健二)



日本結晶成長学会 ナノ構造・
エピタキシャル成長分科会 発表
奨励賞

工学研究科(博士後期)3年生 川満 久
工学研究科(博士後期)1年 宮川鈴衣奈
(教授 平松和政)



(社)日本農芸化学会中部支部
第156回例会 中部支部維持会員賞

生物資源学研究所(博士前期)2年
田中千絵
(准教授 青木直人)



統計グラフ全国コンクール
パソコン統計グラフの部
佳作

教育学部4年
江尻明日香
(教授 藤田達生)



第47回日本人工臓器学会
オリジナル賞

工学研究科(博士前期)2年
水谷直紀
(准教授 宮本啓一)



()内は指導教員

＊ 本の紹介

著書名	著者・発行・金額(税別)
覚醒夢を用いた子どものイメージ療法 —基礎理論から実践まで—	訳者/岡田珠江(教育学部・准教授) 内田イレーネ(学生相談室心理カウンセラー) (株)創元社 5,000円
情報アクセスの新たな展開 情報検索・利用の最新動向	共著/小山憲司(人文学部・准教授) 勉誠出版 2,500円
見方が変われば願いが見える 保育・障害者作業所の実践を拓く	編著/赤木和重(教育学部・准教授) クリエイツかもがわ 2,200円

＊ 耐震補強工事のお知らせ

三重大学では平成20・21年度補正事業により、5棟(医学部探索
医学研究棟、男子寄宿舎、工学部管理棟および熱力学実験棟・水力学
実験棟)の機能改善を含めた耐震補強工事を行っております。竣工は
平成22年1月～3月頃を予定しており、同年4月にはリニューアルし
た安心安全な建物で、教育・研究が始まります。その間、騒音等でご迷
惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力をお願い致します。

＊ 外科外来及び健診センター設置に伴う改修工事について

附属病院1階、外科外来の改修工事及び健診センター設置に伴う改
修工事を平成21年9月から行っています。工事による影響を考慮し、
休診することなく、工事を6工区に分割して行い、最終工事は12月末
に完了する予定です。工事期間中患者様には騒音等でご迷惑をおか
けいたしますが、ご協力方よろしくお願ひします。

＊ FM三重で放送中!!

学長も出演!

～学生の企画するFMラジオ番組～
「Campus CUBE」

大学の取り組みや活動を伝えてい
ます!
毎週金曜日20:30～20:55の間
の25分間、放送中です!



三重大えっくすは
ここに置いてあります!



三重大学附属病院/四日市フロント/知の支援センター
(アスト津)/伊賀研究拠点/三重県庁/県内高校/県内市役所・
役場/県内図書館・公民館/県内関連病院/県内保健所/三重
県総合文化センター内/百五銀行/三重銀行/第三銀行/
紀南病院/eisu/名古屋市立図書館/津東京事務所

近鉄主要駅

(津/江戸橋/桑名/四日市/白子
松阪/伊勢市/宇治山田/五十鈴川
鳥羽/伊賀神戸/桔梗が丘/名張
上野市/青山町)



* 学章、徽章、ガウンの紹介

●10月9日の「三重大学開学60周年記念式典」(P17参照)において、学章、徽章、アカデミックガウンを披露しました。



学章



徽章



▲アカデミックガウン



3月25日の学位記授与式から着用されます。

* 公開講座無事終了



●全学主催公開講座をはじめ各学部の公開講座も好評のうちに終了しました。来年も開催を予定しています。



8/28 櫻井しのぶ教授 9/4 川口 淳准教授 9/11 高山 進教授 JICA青年海外協力隊 OB 9/18 荒川哲郎教授 9/25 筒井美幸さん

* 平成21年度教員免許状更新講習

●11月末までに、必修7講習、選択102講習を開設し、延べ2,815人(必修723人、選択2,092人)が受講しました。三重大学では、平成22年度においても、今年度と同じ規模の教員免許状更新講習の開設を計画しています。

～フィールドを用いた食育の科学～



圃場実習



加工実習

* 附属学校園から

附属幼稚園

●幼稚園の園庭でひとときを

- ◎日時◎ 毎週月曜日 15:00～17:00/毎週木曜日 13:00～17:00
- ◎ご注意◎ *受付で利用記入簿に記入ください。*トイレは管理棟、昇降口の所をご使用ください。*園舎には入れません。*使った玩具等は必ず片付けてください。*保護者同伴でお越しください。

●問い合わせ先◎ 教育学部附属幼稚園/☎059-227-1711

附属小学校

●公開授業研究会のご案内

- ◎研究主題◎ 「探求する子どもが育つ授業」
- ◎日時◎ 平成22年2月11日(木・祝日) ◎会場◎ 教育学部附属小学校
- ◎参加費◎ 2,500円(学生1,500円) ◎受講対象者◎ 教育関係者及び学生

●問い合わせ先◎ 教育学部附属小学校/☎059-227-1295

附属特別支援学校

●ボランティア募集

附属特別支援学校の子ども達と授業や行事に参加しませんか。活動内容/各教科の授業・作業実習・校外学習・課題スポーツ(ソフトボール)等

●問い合わせ先◎ 教育学部附属特別支援学校/☎059-226-5193

* 「文化力形成と地域活性化」連続フォーラム

●「文化力形成と地域活性化」連続フォーラム

第3回フォーラム 文化力と地域の活性化を拓く博学連携(博物館と大学との連携)

◎日時◎ 平成21年12月5日(土) 13:00～16:30 ◎会場◎ 三重大学講堂

◎定員◎ 200人(先着順・無料)

◎問い合わせ先◎

三重大学博学連携推進室 ☎059-231-9081 / Eメール tosho-l@ab.mie-u.ac.jp

三重県生活・文化部新博物館整備推進室 ☎059-224-2175 / Eメール shinhaku@pref.mie.jp

1) 基調講演①「21世紀の博物館像を考えるー博学連携への期待」金山喜昭(法政大学・教授)

②「しのぎを削る。人と知と博物館と」遠藤秀紀(東京大学・教授)

2) パネルディスカッション「文化力・地域の活性化と博学連携」

●第1回フォーラム/10月29日(木)



武田修三郎氏

(日本産学フォーラムファウンディングディレクター)



岡田卓也氏

(イオン株式会社社会善会長・三重大学名誉博士)

●第2回フォーラム/11月15日(日)



宇野文男氏(福井大学・教授)



* 公開講座・シンポジウムなど

●2011 津城修築 400年

「高虎のつととい」高虎と城下町・津

◎日時◎ 平成21年12月8日(火) 13:20～(開場12:30)

◎会場◎ 津リージョンプラザ「お城ホール」 ◎入場料◎ 全席自由 無料

◎問い合わせ先◎ NHK大河ドラマ「藤堂高虎」を誘致する会/☎059-224-1829

第一部:「高虎の生きざま」 安部龍太郎(歴史作家)

第二部:鼎談「城下町・津を活かす」

安部龍太郎・藤田達生(教育学部・教授)・岩鶴密雄(津観音大宝院院長)

●日本気象学会中部支部会・研究発表会

◎日時◎ 平成21年12月8日(火) 13:00～18:00 12月9日(水) 9:00～12:00

◎会場◎ 三重大学 総合研究棟Ⅱ メディアホール ◎入場料◎ 無料

◎申し込み◎ 事前に電子メールで申し込み ◎問い合わせ先◎ 三重大生物資源学

研究科・地球環境気候学研究室/立花(tachi@bio.mie-u.ac.jp)

●みえアカデミックセミナー2009 三重大学公開セミナー

【時代を切り拓いた赤目の王】～琴平山古墳にみる伊賀・伊勢の新世界～

◎講師◎ 山中 章(人文学部・教授) ◎日時◎ 平成21年12月13日(日) 14:00～15:30

◎会場◎ 名張市武道交流館いきいき 多目的ホール

◎受講料・定員◎ 無料・100名 事前申込制(座席に余裕あれば当日参加可)

◎問い合わせ先◎ 名張市教育委員会生涯学習室/☎0595-63-7892

三重県生涯学習センター/☎059-233-1151

URL http://www.center-mie.or.jp/manabi/ 携帯サイト http://www.center-mie.or.jp/m/

●第3回三重大学先端研究シンポジウム

三重大学リサーチセンター クリスマスシンポジウムーバイオマスエネルギー最先端研究ー

◎日時◎ 平成21年12月22日(火) 13:00～17:00

◎会場◎ 都市センターホテル(地下鉄有楽町線趣町駅 半蔵門方面1番出口 徒歩4分)

◎参加費◎ 無料 ◎問い合わせ先◎ Eメール renkei@ab.mie-u.ac.jp

URL http://www.crc.mie-u.ac.jp/file/sinpo3.pdf

●特別講演「バイオマスエネルギー、その現状と将来展望(仮)」 高橋千秋(経済産業大臣政務官)

●基調講演「森林の新しい価値～持続的工業ネットワークを導く～」 船岡正光(生物資源学研究所・教授)

●シンポジウム

①三重大学リサーチセンターの概要 鈴木宏治(理事・副学長)

②バイオプロダクツ研究センター

「バイオプロダクツ研究センターの提案……農業由来の意味」

三島 隆(生物資源学研究所・准教授)

「セルラーゼ複合体(セルロソーム)の話」 栗冠真紀子(生物資源学研究所・研究員)

③食と農業を科学するリサーチセンター

「食と農を科学する～ALFAE活動」 亀岡孝治(生物資源学研究所・教授)

④産業・社会インフラ施設安全技術研究センター

「安全・安心のための診断システム工学について」 陳山 鵬(生物資源学研究所・教授)

●三重大学・志摩市 文化フォーラム

第3回「私たちがいただく食材のイメージは正しいのか」ー地域食材、食文化を大切にす意味とはー

◎講師◎ 安食和宏(人文学部・教授) 梅崎輝尚(生物資源学研究所・教授)

◎日時◎ 平成21年12月13日(日) 14:00～16:00 ◎会場◎ 志摩市役所4階会議室

◎問い合わせ先◎ 三重大学附属図書館研究開発室/☎059-231-9072

志摩市企画部企画政策課/☎0599-44-0205

●?「発見塾」三重大学シリーズ 2009

◎問い合わせ先◎ 津文化協会事務局/☎059-228-8393

「認知症を少しでも理解するために」

◎講師◎ 成田有吾(医学部・教授)

◎開催日◎ 平成22年1月23日(土) 13:30～15:00 ◎会場◎ 津市一志保健センター

「乗物酔いの科学と技術」

◎講師◎ 井須尚紀(工学研究科・教授)

◎開催日◎ 平成22年3月27日(土) 13:30～15:00 ◎会場◎ 津図書館 2F視聴覚室

●第2回三重大学発産学官連携セミナー in 伊賀2009

◎日時◎ 平成22年1月29日(金) 13:30～

◎会場◎ ヒルホテルサンピア伊賀(旧 ウェルサンピア伊賀)

◎参加費・定員◎ セミナー無料・200名(交流会3,000円)

◎問い合わせ先◎ 三重大学伊賀研究拠点 三重県伊賀市ゆめが丘一丁目3番地の3

☎0595-41-1071/FAX 0595-41-1062

Eメール iga-kyoten@crc.mie-u.ac.jp

●平成21年度「三重県防災教育センター」研修

県との協働により、地域の防災力向上を目的に実施している防災研修です。

◎日時◎ 平成22年2月18日(木) 13:30～16:00

◎会場◎ 三重県総合文化センター(男女共同参画センター1階・多目的ホール)

◎テーマ◎ 地域の防災・減災を担う人材に求められる能力とは

◎講師◎ 河田恵昭(関西大学・教授 理事) ◎受講料◎ 無料

◎対象者◎ 防災関係者及び市民一般 ◎申込受付◎ 前日までに氏名、所属をお知らせください。

◎申込み・問い合わせ◎ 三重大学自然災害対策室(橋村・廣田)

☎・FAX: 059-231-5486 / Eメール hirota@dimo.mie-u.ac.jp

催し物

●第44回三重大学ギターマンドリンクラブ定期演奏会

◎日時◎ 平成21年12月23日(水・祝日) 17:30開場 18:00開演

◎会場◎ 三重県総合文化センター(中ホール)

◎入場料◎ 無料 ◎問い合わせ先◎ 阿部/☎080-5162-6015

Eメール master@miegmc.net URL http://miegmc.net/

●三重大学合唱団 第49回定期演奏会

「大きな古時計」などノスタルジックな名曲から木下牧子のア・カベラ合唱曲集まで、多くの方に楽しんで頂ける内容となっています。ぜひホームページをご覧ください!

◎日時◎ 平成22年1月16日(土) 12:30開場 13:00開演 15:50終了予定

◎会場◎ 津リージョンプラザ お城ホール ◎入場料◎ 500円(当日600円)

◎問い合わせ先◎ 福岡/☎080-5119-3309 URL http://side-b.jp/mucc/index.html

●三重大学管弦楽団 第46回定期演奏会

◎日時◎ 平成22年1月23日(土)開場17:00 開演17:30 ◎会場◎ 伊勢市観光文化会館大ホール

◎日時◎ 平成22年1月24日(日)開場14:00 開演14:30 ◎会場◎ 三重県総合文化センター(大ホール)

◎入場料◎ 600円(当日700円)

◎問い合わせ先◎安藤/☎090-8540-7588 URL http://www.effect.to/~symphony/

●三重大学吹奏楽団 第54回定期演奏会

◎日時◎ 平成22年3月6日(土)開場16:30 開演17:00

◎会場◎ 三重県総合文化センター(中ホール)

◎問い合わせ先◎ Eメール musb@mail.goo.ne.jp ☎080-5326-2910

◎詳しくは◎http://musb.web.fc2.com

●近鉄 駅長おすすめハイキング

酒蔵めぐり 寒紅梅酒造「寒紅梅」と三重大学「三翠会館」三重大学キャンパスと「三翠会館(登録有形文化財)」の館内が見学できます。

◎日時◎ 平成22年3月6日(土)受付9:30～10:30 ◎受付場所◎ 近鉄 江戸橋駅

◎行程◎ 江戸橋駅～三重大学キャンパス(三翠会館)～伊勢街道の常夜灯～

千王神社～八雲神社～逆川神社～寒紅梅酒造～高田本山駅

◎参加費◎ 無料 ◎問い合わせ先◎ 近鉄駅 059-228-2462



* 看護師・助産師 募集 *

医学部附属病院では看護師・助産師の募集を随時行っています。大学病院で働いてみたい、病院を見て色々を知りたいと思われた方は、お気軽に連絡ください。あなたの笑顔をお待ちしています。

【お問い合わせは】

三重大学医学部附属病院看護部

☎059-231-5183 又は ☎059-231-5184

佐佐木信綱と明治文学



佐佐木信綱資料館
展示室



小澤本陣の開札



石薬師小学校



夏目漱石からの書簡
(佐佐木信綱記念館所蔵)

佐佐木信綱は明治五年(八七二)六月三日、鈴鹿市石薬師に佐佐木弘綱の長男として生まれました。伊勢の国学者足代弘訓のもとで歌学を修めた弘綱の教えを受けながら育ち、東京大学文学部古典講習科に入学すると万葉研究を生涯の目標にするようになり、わたしたちが今日、一冊の歌集として万葉集を読むことができるのは、信綱の精魂込めた研究のおかげといえます。

信綱は明治三年に父と共に編で『日本歌学全書』全二冊の刊行を開始し、日露戦争後に短歌革新の気運が起こると、落合直文や与謝野寛たちと共に、短歌再生を目指した新しい運動に参加しました。明治三〇年には父の号竹柏園(なぎのくに)にちなんで命名した短歌結社竹柏会を結成し、機関誌「心の花」を創刊しました。「ひろく、ふかく、おのがじこに」という信綱が門弟に示した標語のような自由な歌風にもとづいて木下利玄、川田順、前川佐美雄など多くの歌人が育ちました。

生家に隣接した佐佐木信綱資料館には、貴重な資料が整理保存されています。たとえば大正四年二月二七日に夏目漱石から届いた書簡には、漱石は佐木家の家庭教師として東京帝国大学教授の大塚保治を推薦しています。大塚の妻楠緒子は信綱の門弟で、夫は漱石が理想の女性として小説に描き続けた人物でした。しかし不幸にも、彼女は五年前に肋膜炎のため死去していました。他方、実直で学者肌の保治は、漱石が前年に朝日新聞に連載した小説『浮城物語』の登場人物Kのモデルと推定されており、この書簡からは明治文学の背景が伝わってきます。

三重大学文学部 教授
尾西 康充



佐佐木信綱記念館 特別展【入場料無料】
 ■開催期間/ 11月11日【水】～12月20日【日】 ■開館時間/ 午前9:00～午後4:30
 ■休館日/ 月曜日(休日の場合は翌日) ※期間中に限り、第3火曜日(休館日)は開館いたします。
 佐佐木信綱記念館 〒513-0012 鈴鹿市石薬師町1707-3 TEL・FAX 059-374-3140

三重大学総務部広報チーム
 〒514-8507 津市栗真町1577
 TEL 059-231-9789 / FAX 059-231-9623
 ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
 E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp *ご意見をお寄せください。

本誌お問い合わせ先

メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月末)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしています。

配信お申込み方法

次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。

- 1.メールのタイトルは『メールマガジン希望』と記入してください。
- 2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
 ①「一般」もしくは、「三重大生(保護者)」 ②お住いの都道府県

koho@ab.mie-u.ac.jp

できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。

お詫び

「三重大X」19号の歴史街道シリーズ「久留倍官衙遺跡」の記事中、ページ上部3枚の写真について「四日市市教育委員会提供」の記載漏れがありました。関係者の皆様にご迷惑をお掛けしましたこととお詫び申し上げます。



アンケートに答えて...

三重大学オリジナル
 “えっくすくんわいわいボールペン”
 もらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。アンケートにお答えいただいた方には、「えっくすくんわいわいボールペン」をお送りします。どしどしお寄せください。(先着100名)
 *なお、お寄せいただいた個人情報は、景品発送のみに使わせていただきます。



→「えっくすくんわいわいボールペン」ご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。

*お願い

三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

- ◎学生への奨学金及び災害時の学資援助事業
- ◎学生の修学環境整備事業
- ◎学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
- ◎地域貢献支援事業
- ◎その他本学の目的達成に必要な事業

●募金の方法●

三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご郵送ください(FAX・E-mailでもOKです)。

ご郵送先・お問い合わせ先

三重大学振興基金事務局
 【総務部総務チーム内】
 〒514-8507 津市栗真町1577
 TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000
 E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp
 URL: <http://www.mie-u.ac.jp/fund/>

ご協力
 お願いします



平成22年度

三重大学個別学力検査

本学の一般入試は、学部・学科・課程等の入学定員を分割し、「前期日程」及び「後期日程」により入学者を募集する「分離分割方式」で実施します。

人文学部・教育学部・医学部・工学部・生物資源学部

実施日程

	前期日程	後期日程
出願期間 (郵送に限ります)	平成22年 1月25日(月) ~ 2月3日(水) (必着)	
個別 学力検査 等の日程	平成22年 2月25日(木) (医学部は2月25日(木)、26日(金)の2日間)	平成22年 3月12日(金)
合格者 発表	平成22年 3月6日(土) 午前10時頃	平成22年 3月23日(火) 午前10時頃

▲平成22年度個別学力検査の主な変更点▲

- 人文学部** ◎法律経済学科において、推薦入試を実施することに伴う募集人員の変更。
前期日程 22名減員(122→100) / 後期日程 2名増員(35→37)
- 医学部** ◎医学科前期日程において、「三重県地域医療枠」を実施予定。
(現在、文部科学省への認可申請中であり、変更があり得ます。
詳細については、学生募集要項を確認してください。)

- 「三重大学学生募集要項(一般入試)」は、本学学務部入試チームにて配付しています。
- 「三重大学学生募集要項(一般入試)」の請求方法など入学試験に関することは、本学ホームページ(<http://www.mie-u.ac.jp/exam/>)「入試情報」をご覧ください。
(TEL.059-231-9063(学務部入試チーム))
- 新型インフルエンザの感染拡大等の状況によっては、左記の日程等が変更となる場合があります。その際には、本学HPにおいて公表しますのでご注意ください。

携帯電話サイト

募集要項等の請求方法、志願状況速報などの各種情報を携帯電話にて閲覧することができます。



※対応する携帯電話で読み取ることができます。

●アドレス ● <http://daigakuic.jp/mie-u/>

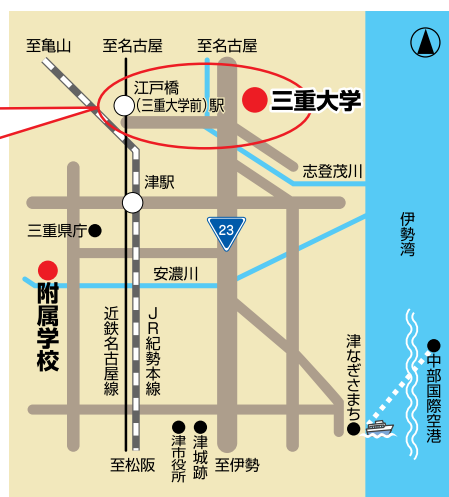
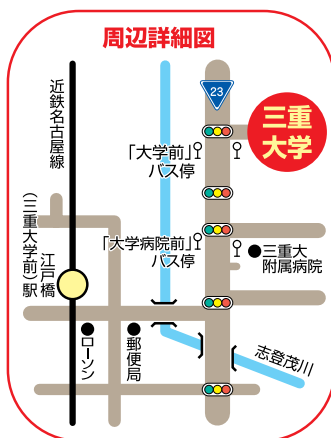
平成22年度大学入試センター試験
平成22年 1月16日(土)・1月17日(日)

三重大学進学説明会 開催

説明会及び願書配付も行います。

日時 12月5日(土)13:00~16:00

場所 名古屋市 愛知県産業労働センター 7F



交通のご案内

- 近鉄江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスステイ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)行きで、「大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から津エアポートラインで津なぎさまちへ40分
 1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
 2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分

三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL 059-232-1211(代)
<http://www.mie-u.ac.jp/>

TRIPLE UNIVERSITY